

CARBON POOLコンクリートプロジェクトへ参画

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のグリーンイノベーション基金事業「CO2を用いたコンクリート等製造技術開発」において、CO2を高度利用した「CARBON POOLコンクリートプロジェクト」へ参画しました。本プロジェクトは、15の企業、研究機関、大学等で構成される「CPコンクリート・コンソーシアム」が脱炭素社会の実現に向けて産官学協働で取り組む国家的プロジェクトです。



グリーンインフラ産業展に共同出展

日本道路株式会社は、2月1～3日に東京ビッグサイトで開催された「グリーンインフラ産業展2023」に、清水建設株式会社、株式会社ザクティと共同で出展しました。当社は間伐材や木廃材を主原料にした「環境性能重視型」の木質成形舗装ブロックと、メンテナンスが簡易な天然芝育成パネルを床材に使用して展示しました。



「エコとわざ」コンクール『日本道路賞』

2022年12月、大阪府豊中市の箕面自由学園中学校にて第13回「エコとわざ」コンクールの企業賞表彰式を開催しました。「エコとわざ」コンクールは、環境省「エコ・ファースト」認定企業が加盟するエコ・ファースト推進協議会主催の環境に関する創作ことわざのコンクールです。今回は全国の小・中学生から997作品の応募があり、記念すべき『日本道路賞』



初受賞作品に選ばれたのは、**【エコの道 世界のみんで歩き出す】**となりました。当社は今後も自社でエコの道づくりをするとともに、エコへの道標を立て業界をリードしていきます。

「気候変動レポート2022」Bスコアに認定

当社はCDPが公表した「気候変動レポート2022」において8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）中、上位から3番目である「B」スコアに認定されました。今回認定された「B」スコアはマネジメントレベルとされ、「自社の環境リスクや影響について把握し、行動している」と評価されたことを示すものです。当社は今後も、環境ビジョン「Nichido Blue & Green Vision 2050」や環境省「エコ・ファーストの約束」



で掲げている気候変動対策を推進するとともに、CDP質問書回答やホームページ、統合報告書などを通じて積極的に情報開示を行い、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

大学で出張授業開催

2022年12月、関東学院大学の横浜・金沢八景キャンパスにて、当社の東京技術センターのICTアドバイザーによる出張授業を実施しました。この授業は、同大学理工学部の選択科目である「応用測量実習」のカリキュラムの一環として実施したものです。当日は、大学2年生を中心とした11名の学生に受講していただきました。授業ではさまざまな最新測量機器の概要を紹介した後、実際に学校内の敷地



にてレーザースキャナによる3次元測量とデータ解析の実演を行いました。この他にも、北海道大学や山口大学、関西大学、日本大学などでも実施しています。

『NICHIDO VIEW』Vol.5について

寒さも和らぎ、ランニングを行うには最適な気候となってきました。今回はウォーキング&ランニングの際に足への負担が少なく感じる「快適歩走」を取り上げました。ランニングしたいのに、走りすぎて腰や膝を怪我して走れないというランナーが大勢います。実は、ランニング時の着地衝撃は体重の2～3倍の大きさで、着地する度に足に負担が生じています。そのため、厚底シューズを履くなど、身に着けるウェアで衝撃を緩衝しています。我々は、『路面』で衝撃を緩衝できないか、と考え、快適歩走の開発に至りました。ランニング・ウォーキングを行うことで、健康増進のみならず、心もスッキリしますので、ぜひ新年度から日常の一部に取り入れてみてはいかがでしょうか。（発信力強化ワーキンググループ）

NICHIDO VIEW



Vol. 5

特集 産学官連携で建設業の魅力をつたえる

～裾花川ウォーキングロード補修工事～

道の先の「未知」を切り拓く
NICHIDO 日本道路株式会社



環境大臣認定
エコ・ファースト企業
環境先進企業として
持続可能な地球環境の
実現に取り組んでいます



生物多様性の
30by30アライアンス参画企業
生物多様性保全に
取り組んでいます

<Webサイトのご案内>

事業拠点や技術・製品情報、お問合せはこちらまで！

<https://www.nipponroad.co.jp>



NICHIDO VIEW Vol. 5
発行年 2023年4月
発行 日本道路株式会社

裾花川ウォーキングロード補修工事



産学官連携で 建設業の魅力をつたえる

長野県長野市を流れる裾花川（すそばながわ）のウォーキングロード整備工事を日本道路のグループ会社である創研建設(株)が受注しました。この工事は、長野県が展開している「建設技術実践プロジェクト」の学びのフィールドになっています。今回は長野県長野工業高等学校での舗装の授業、現場での施工体験などを行いました。

建設技術実践プロジェクトってなに??

建設業協会、地元高校、長野県の「産・学・官」が連携し、測量・設計、工事のプロセスを高校生が自ら実践し、建設産業の魅力を感じてもらうことで、建設業界への就職につなげる取り組みです。長野県より学びのフィールドとして裾花川ウォーキングロードを提供し、学生は地域で活躍する専門企業や技術者から直接指導を受け、実践的な学びを行っています。



- 令和3年9月 ● 令和3年度工事を創研建設(株)が受注
- 令和3年10月 ● 快適歩走への設計変更を長野県へ提案
- 令和3年11月 ● 快適歩走到設計変更
- 令和3年10月～ ● 建設技術実践プロジェクト開始
- 令和4年1月 ● 快適歩走 施工
- 令和4年3月 ● 工事完成・引渡し
- 令和4年8月 ● 令和4年度工事を創研建設(株)が受注
- 令和4年9月～ ● 建設技術実践プロジェクト開始
- 令和4年12月 ● 快適歩走 施工

創研建設株式会社

所在地：長野県長野市三輪2-3-6
1993年設立の地域舗装会社です。官庁や公園、学校といった公共施設から個人宅の駐車場まで、様々な工事を行っています。これからも地域社会の発展の一翼を担っていけるよう邁進して参ります。

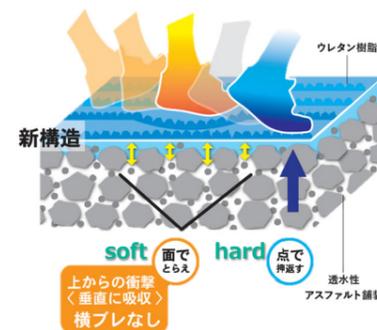


快適歩走ってなに??

陸上競技場の表面に使用されているウレタン樹脂を透水性アスコンの表面空隙部に充填し、エンボス仕上げすることでランナーや歩行者の足腰への負担を少なくする「人にやさしい」舗装です。

～3つのポイント～

1. 足にやさしい
表面のウレタン樹脂が着地時にかかる衝撃を吸収します。
2. 効率的に力を伝達
蹴り出し時に「つま先」にかかる力を効率的に舗装面に伝達します。
3. 横ブレを軽減
ゴムチップ舗装などと比較して、走行時に横ブレが少なくなります。



現場代理人
上野さん

近隣利用者からいただいた声に感謝

ウォーキングロードの当初設計は他社製のゴム弾性舗装となっていましたが、創研建設(株)と日本道路(株)北信越支店とのタイアップで快適歩走への設計変更を長野県に提案しました。発注者および学校から評価していただいた結果、次年度工事については快適歩走が設計スペックされ、続けて受注するに至りました。次年度の快適歩走は冬期の施工となりましたが、前年度工事の経験からウレタン樹脂の養生時間や凍結対策など、厳密に管理したことで降雪シーズンに入る前に施工を完了することができました。毎日ウォーキングをしている近隣の方から「歩いて足が痛くならないので、他のウォーキングロードにも同じものをつくってほしい」との声いただき、非常に感謝しております。

学生から刺激を受ける貴重な機会

河川敷での工事だったため、重機・資材の搬入出はクレーンで行いました。特にアスファルトフィニッシャーの吊り下げ作業は緊張しました。冬期の施工だったため、普段よりも外気温に気をつかいながらの管理を心掛けました。長野工業高等学校の生徒達と一緒に現場を進めることで、普段よりも一層身が引き締まるとともに、後進の範となり良いものを造らなければならないと思いました。生徒達の固定概念にとらわれない発想に接することで、今後柔軟な発想を持って現場に臨んで行きたいと思いました。



監理技術者
神農さん

